

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	食道がん術後せん妄ハイリスクパスのバリエーション分析と看護師に対するアンケート調査による評価・修正の検討
	研究目的	<p>せん妄は、軽度から中等度の意識混濁に、幻覚、妄想、興奮などさまざまな精神症状を伴う特殊な意識障害であり、身体疾患や薬剤により脳の機能不全が生じることで出現する。せん妄が生じやすい準備因子として、高齢、認知症の既往、脳血管障害の既往などが指摘されており、患者のせん妄のリスク因子を同定して発症の予防策を講じ、せん妄が発症した際には早期に適切に対応することが望まれている。当院では、2016年より食道がん手術を受ける患者の術後せん妄に焦点を当てた多職種介入プログラムの運用を開始した。本プログラムの特徴は、看護師が患者のせん妄を早期に発見し、適切な医療と看護を提供するために、食道がん手術パスと連動した食道がん術後せん妄ハイリスクパスを導入していることである。</p> <p>本研究ではバリエーション分析と看護師に対するアンケート調査を用いて、クリニカルパスのアセスメントの表現に関する課題を抽出し、クリニカルパスの質の向上のための評価・修正を行うことを目的とする。本クリニカルパスは、せん妄に対する医療と看護の質を目的とした医療者アウトカムの教育的パスであり、本研究は医療と看護の質の向上に対して意義があるものとする。</p>
	研究対象者	2016年02月から2019年04月までに、当院で食道がんに対する手術療法を受け、せん妄ハイリスクパスが適応された患者約90名 食道がんに対する手術療法を受けた患者に対して看護を提供し、せん妄ハイリスクパスの入力に携わった経験が一年以上ある看護師約25名
	研究期間	西暦 2019年06月26日～西暦 2020年03月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	患者支援部 緩和ケアセンター 谷島 和美
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	患者支援部 緩和ケアセンター 看護局 消化器外科 精神腫瘍科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし